

アースデイはままつ2009イベントレポート

アースデイはままつ2009実行委員会・実行委員長 宮内秋良

～「エコでつながる」をキーワードに静岡西部が一つに～

4月22日の「アースデイ（地球の日）」にちなんで、4月26日（日）に静岡県西部地域では2回目となる「アースデイはままつ」が遠州灘海浜公園（静岡県浜松市南区）で開催されました。第1回目だった昨年よりも時間を延長したことによって多くの参加者に楽しみながら環境について学べる場を提供し、地域がエコで「つながる」ことが実感できるイベントになりました。

アカウミガメの産卵地でもある遠州灘の海岸沿いでのビーチクリーンに加えて、今年は初の試みとして物販、展示ブースの設置、ステージイベントの充実やワークショップの開催などビーチクリーン後も楽しめる場の提供をしました。それに伴い、実行委員を含めたボランティアを昨年の50人から100人に増やして会場内での進行をスムーズにすべく対応しました。当日の参加者も昨年を上回る約500人（実行委員も含む）が集まりました。（※受付を通らずに参加された方もいるので実際はもっといると思われます。）



ゴミレンジャーショーの様子

開会式では実行委員スタッフが戦隊ヒーローに扮し、ビーチクリーンの注意点やゴミの分別方法をわかりやすく伝えるためにゴミレンジャーショーを行い、「ゴミのない綺麗な地域にしていくこと」、「自分達で行動することの大切さ」も参加者に呼びかけました。ビーチクリーンは前日の雨の影響もあってか、風も強く、砂塵が舞う中でのゴミ拾いでしたが、「こんな強い風の砂浜でのゴミ拾いは一生の思い出になります！」と言った参加者の積極的なコメントも聞かれたように参加者が思い思いに何かを感じ、ビーチクリーンに取り組んでくれました。



ビーチクリーンへ向かう参加者たち



参加者たち

ビーチクリーンの後は公園内の芝生広場にて参加者と西部地域で環境保護やエコな取り組みをしている市民団体や企業とが「エコでつながる」場となり、多くの方で賑わいました。有機野菜、オーガニックカレー、雑貨類や手作りのアクセサリ、民族楽器の販売、市民団体や各企業の日頃の環境活動の紹介や展示、羊、ヤギ、犬、猫たちと触れ合うブース、木っ端を使ったおもちゃ作り、アクリルたわし作り、虫よけスプレー作り、絵本のかえっこ会など充実したものになりました。



会場の様子



ワークショップを楽しむ参加者たち

(左上：アクリルたわし作り 右上：おもちゃ作り 左下：絵本のかえっこ会 右下：ジャンベワークショップ)

ステージイベントでは、全国のアースデイに赴き、その癒しの歌声を披露している **Comugi** によるライブ、ディアボロで世界3位の実力の吉田晃輔（浜松在住）とヨーヨーで世界チャンピオンになった岩倉玲（静岡在住）の2人によるジャグリングショー、浜松の有機農家・自然食品店・オーガニックレストランの店主によるオーガニックトークショーが行われ、その他に浜松で活動している3人のアーティストによるユニット・**SARAS**によるライブアートや、間伐材を利用したチェーンソーアート作品を作っている丸太房の長谷川氏によるチェーンソーアートの実演を行い、各々の熟練された技で参加者を楽しませてくれました。



Comugi（ライブ）



吉田晃輔 (ジャグリング)



岩倉玲 (ジャグリング)



SARAS (ライブアート)



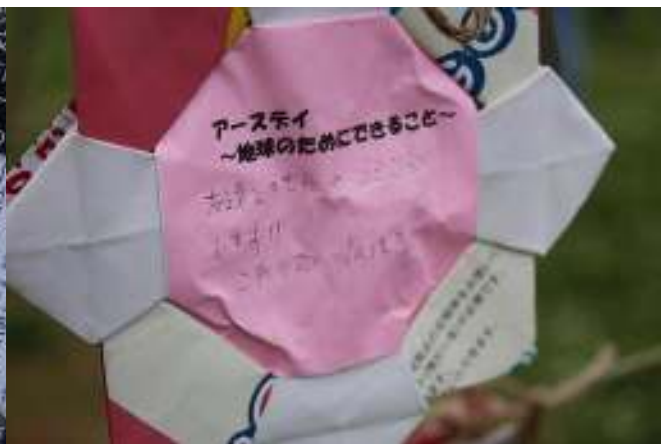
丸太房 (チェーンソーアート)

「浜松には、こんなにいろいろな活動をしている人達がいるんですね!」「これをきっかけに、それぞれの団体やお店を訪ねてみたい」と言った参加者の方々の声も聞かれ、青空の下、緑の芝生が広がる公園で、次々と新しい『つながり』が生まれていきました。

また、メイン企画として行われた「Myたね、咲いたね、エコの種」は古紙を利用して折られた様々な花の折り紙に環境に対するメッセージを書いて、会場に設置した竹で作った「エコの木」に吊るしてもらいました。この折り紙の中には「花の種」が入っていて、参加者が帰りにエコの木から一つ持ち帰ることによって、自分の持ち帰った他の参加者の環境に対する『想い』を共有し、実際に種を植えることで、今度は本物の花を自分の手で咲かせてもらおうという我々実行委員の『想い』が伝わってくれたと思います。「書いてもらったメッセージにはそれぞれ個性があってすごくよかったです!『あまり考えたことがなかったなあ』と言いながら考えて書いてくれる人がいたり、お母さんが子供に声かけしてくれたり、外国人の方たちもそれぞれの言葉で書いてくれて、やっけていておもしろかったです。」と担当スタッフの一人が話してくれました。



思い思いのメッセージを書き、エコの木に吊るす参加者たち



書かれたメッセージ

今年は、インドネシア・ブラジル・イギリス・アメリカと様々な国出身の参加者も多く、アースデイが国際的なイベントだと感じることができました。会場のアナウンスなどではポルトガル語の通訳も交えながら進行していく場面もありました。

ビーチクリーンで回収されたゴミは参加者とボランティアの手によって可燃・不燃ゴミと分けられ、両方あわせて約50袋分、「ゴミ拾いに参加することも大事ですが、ぜひ皆さんの身の回りにあるゴミも拾って小さくてもいいからゴミ拾いを続けてほしいです。」とゴミレンジャーの一人が話していました。



浜松を含んだ遠州地域・豊橋などで地産地消やオーガニック素材、環境に配慮したお店とアースデイに参加して頂いた方達が“つながる”きっかけになるよう「アースデイフレンズカード」を作成し、配布しました。このカードを持って、フレンズカードの趣旨に賛同してくれた協力店で掲示することにより、それぞれのお店で素敵なサービスが受けられるというものです。このカードをとおして、地域で頑張っているお店を知ってもらい、応援してもらえればと思います。

- ・アースデイフレンズ協力店にてこのカードを掲示していただくとお得なサービスを各店1回のみ受けることができます。
- ・サービスの内容はホームページの『アースデイフレンズカード』のページにてご確認ください。※携帯からも確認できます。
- ・このカードを紛失した場合は再発行できませんのでご注意ください。
- ・このカードは2010年4月22日のアースデイの日までのご利用となっております。それ以降はこのカードは使用できませんのでご注意ください。

カード発行

アースデイはまつ実行委員会

(事務局)
〒430-0002 浜松市中区富塚町1449-1 (SpiceCafe Bija内) TEL: 053-474-0330 FAX: 050-1019-1361
E-MAIL: earthday.hamamatsu@gmail.com Blog: http://earthday.hamazo.tv

アースデイフレンズカード

今年のアースデイは昨年を大きく越える参加者がありました。そして、市民団体、お店、企業と協力することができ、「つながり」ができました。昨年は一般で参加した方が今年は実行委員に加わり、このアースデイを盛り上げてくれましたし、ボランティアも本当に沢山の方が集まってくれました。中には開成館の中学生・高校生が先生と一緒にボランティアと参加して、実行委員と一緒に汗を流しました。少しずつですが、「アースデイの輪」が広がってきているのが感じられます。継続することによってこの『輪』をもっと大きなものにしていきたいです。

アースデイはままつを行った同じ日に、東部地区でも「アースデイ伊豆」としてアースデイのイベントが行われました。そして、静岡でも19日に小さいながらもアースデイのイベントが行われています。静岡県内でこのアースデイの輪を広げていける事を自分達は願っています。イベント終了後もアースデイはままつとしての活動は終わりません。年間を通してビーチクリーン、街中の清掃活動やワークショップの開催を計画しています。

今後も、アースデイはままつの活動を見守っていただき、そして応援していただけたらと思います。簡単ではありますが、以上で「アースデイはままつ2009」の報告とさせていただきます。最後までお読み下さり有難う御座いました。



出展者・スタッフ一同での記念撮影